

### 3月29日 第15回菊池さくら祭り弓道大会 日頃の成果を競い合う

市宮弓道場で、菊池市弓道協会が主催する菊池さくら祭り弓道大会が開催されました。当日は、学生の部に34人、一般の部に188人が参加。県内外から多くの人々が参加し、日ごろの練習の成果を披露しました。



同協会の山下孝幸さん(上出田)は「弓道は、生涯取り組むことができます。多くの人に弓道の魅力を伝えていきたいです」と話しました

### 3月24日 KIYORAきくち 災害に備えた協定を締結

(株)KIYORAきくち(今)と災害時などの物資調達に関する協定を締結しました。同社は、熊本地震被災時には飲料水、新型コロナウイルス感染拡大時には次亜塩素酸水を支援。今回の協定で協力体制をさらに強化しました。



(株)KIYORAきくちの大神志保子代表取締役◎

### 3月13日、4月15日、21日 市の発展に寄与 3社が企業版ふるさと納税制度で市に寄付

医療等衛生材料メーカーの「ハクゾウメディカル(株) (大阪市)、建設工事用仮設事務所などのリースを手掛ける「日商リース(株) (熊本市)、建設業の「清水電気工業(株) (熊本市)が、企業版ふるさと納税を通じて市に寄付しました。企業版ふるさと納税は、企業が応援したい自治体の事業



ハクゾウメディカル(株) 佐々木宏会長◎と佐々木光一郎取締役◎



日商リース(株) 増岡範昭代表取締役◎



清水電気工業(株) 清水悦子代表取締役◎

に寄付すると、寄付額の最大9割が法人関係から控除される仕組みで、市では令和3年から受け付けを開始しています。寄付金は「菊池市まち・ひと・しごと創生推進計画」に基づき、「子育て世帯移住支援事業」や「地域子育て支援拠点事業」に活用します。

### 3月29日 藤田区自主防災組織 大雨を想定した避難訓練を実施

藤田区は平成26年に自主防災組織を設立し、毎年3月に避難訓練を実施しています。地区の公民館が洪水浸水区域内に位置しているため、公民館以外に5カ所の避難場所を設定し、分散型避難の訓練を行いました。



避難訓練後には、消防団員に指導を受けながら放水訓練を実施。団員以外の住民にもポンプなどの操作方法を共有しました

### 3月29日 さくらマルシェ 満開のさくらを堪能

ふるさと創生市民広場で、きくちさくらマルシェが開催されました。このマルシェは、桜の満開時期に開催している菊池さくらまつりのイベントの一つで、キッチンカーを含む45の店舗が並び、ステージイベントなども行われました。



ステージでは芦北鉄砲隊の演武の他、今回初めて花魁が登場。花魁は、菊池神社の参道で参加者との記念撮影も行いました

### 3月17日 令和7年度教育論文等表彰式 深い学びを育む教育の充実に向けて

教育委員会では、市内小中学校を対象に、個人教育論文と学校実践事例を募集しました。昨年度は個人教育論文13点と学校実践事例15点が寄せられ、各賞合計8点を選出。表彰式では受賞した教員と学校に表彰状が授与されました。



音光寺以章教育長は「これからも子どもたちの主体性をさらに伸ばしていく教育の実践研究を期待しています」と話しました

### 3月14日 菊池国際交流協会 市内の外国人とバスハイクで交流

フィリピンやベトナム出身の親子連れを含む26人と菊池女子高校の先生・生徒7人、菊池国際交流協会の会員ら10人が参加し、市内をバスで巡りました。水源交流館ではだご汁作りを体験。菊池の観光地や食文化を楽しみました。



水源交流館でだご汁作り体験をし、昼食後は竜門ダムの中を見学。雪野八幡宮御遷宮祭や七城メロンドームも訪問しました

### 3月30日 校長先生へ感謝を込めて 退職した校長先生へ感謝状を贈呈

菊池北小学校の元校長、内田里佳さんに感謝状が贈られました。長年にわたる教育の充実や振興への尽力と、児童生徒の学力や教育環境の向上に多大な貢献をされたことに、江頭市長からねぎらいの言葉と共に感謝状が渡されました。



内田さん◎は、市内の小中学校では、菊池北小学校の他に、旭志中学校や泗水中学校、菊池北中学校にも勤務しました

### 3月30日 全国障害者スポーツ大会 林正さんが全国大会で好成績

令和7年10月25日～27日に滋賀県で開催された第24回全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く障スポ」に県代表として林さん(片角)が出場しました。林さんは、ポッチャ競技座位の部で全国第3位の成績を収められました。



林さん◎は「次回も大会に参加し、全国1位を目指したいです」と今後の意気込みを話しました

### 3月20～22日 プラチナ「森の学校・きくち」 未来のリーダーを育む

菊池渓谷ビジターセンターと中央公民館で「森の学校・きくち」を開催。市内の中学生34人と高校生ボランティア11人が参加しました。国内外で活躍する講師による講話とフィールドワークを通して、多様な物の見方があることを学びました。



最終日には、身近な地域や世界規模の課題を考え、成果を発表しました。本事業は今回で10回目。今後も生きる力と未来のリーダーを育む機会を提供していきます

### 3月18日 きくち未来創造塾 地域課題の解決に向けて

地域課題の解決や地域資源の活用に向け、既存のビジネスを活用しながら考える「きくち未来創造塾」の第4期修了式が中央公民館で行われました。市内で農業や小売業などを営む11人が自身のビジネスプランを発表しました。



14回にわたる講義やヒアリングを経て修了式を迎えました。今年度も5期目の開塾に向けて塾生を募集予定です